

## I 女性の登用が経営に与えるメリットを考えよう

### 1 はじめに

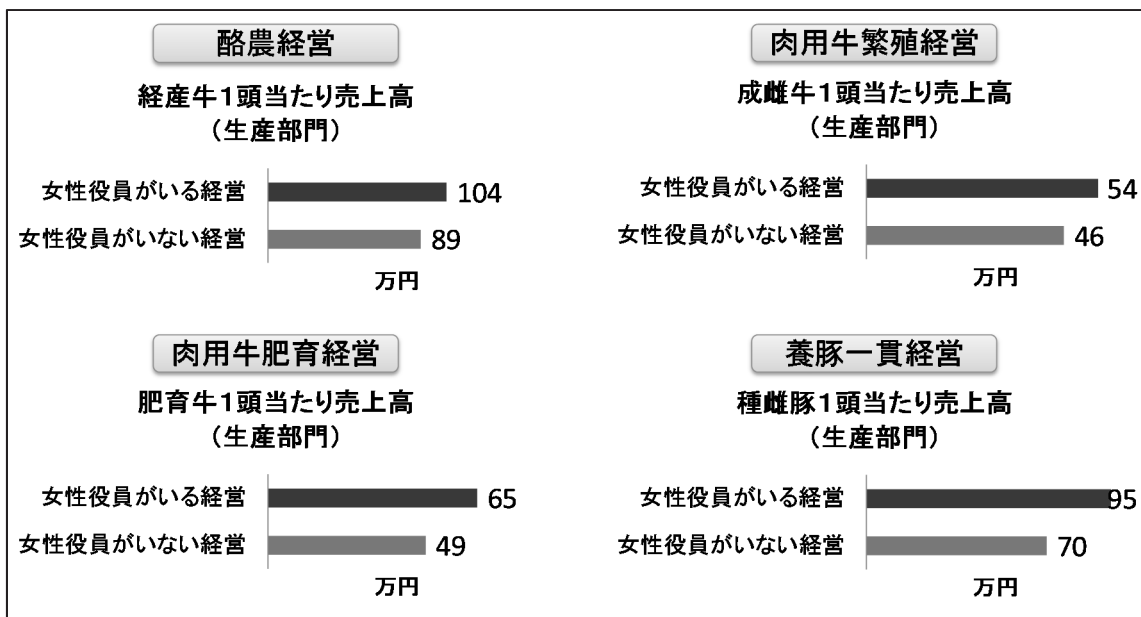
中畜実施調査（アンケート結果）の結果から、法人経営において女性役員の有無による年間売上高の差を取りまとめた結果が下表です。

養鶏経営はアンケート回答数が少ないため掲載していません。

いずれの畜種においても、女性役員がいる経営の方が年間売上高が多い結果となっています。

ただし、この結果は、女性役員がいないことが問題であることを示すものではなく、調査結果を基に、女性の持つ能力を活用することが経営にどのような効果を与えるのかを考えるために事例として紹介するものです。

表 女性役員の有無別による年間売上高の差  
【法人経営対象の調査結果を基にした事例紹介】



### 2 調査結果

女性役員がいる経営といない経営について、畜種別に、生産母体となる家畜の年間平均飼養頭数1頭当たりで生産部門の年間売上高を比較しました。

女性役員がいる経営の方が女性役員がいない経営よりも、以下のとおり1頭当たり売上高が多い結果となっています。

- ・酪農経営は15万円の差
- ・肉用牛繁殖経営は8万円の差
- ・肉用牛肥育経営は16万円の差
- ・養豚一貫経営は25万円の差

### 3 調査結果をどう見るか

2の調査結果から考えたいことは、「役員に女性がいないことはダメだ」ということではなく、経営に女性がいること、経営の企画・意思決定に女性が参画していることによって経営にどのような効果が表れるのかです。

女性が持つ優れた能力について考えてみると、以下のことが挙げられます。

- ・消費者目線を持っている。
- ・家畜への接し方が丁寧である。
- ・畜舎等の清掃が隅々まで行き届く。
- ・施設・機械の取り扱い方が丁寧である。
- ・より注意深く資金管理をする。
- ・従業員を束ねる立場としての役員に女性がいることで、従業員とのコミュニケーションが活発になる。

これらのことから考えてみると、

- ・商品づくり・販売戦略が消費者に受け入れやすくなる。
- ・生産部門においては、家畜をより健康に育てることにつながる。
- ・清掃等をこまめに行うことで畜舎等の衛生管理の徹底につながる。
- ・施設・機械の修繕に係るコストの低減につながる。
- ・従業員とのこまめなコミュニケーションにより従業員のモチベーションの維持や向上を引き出し、優秀な人材の安定的な確保につながる。

以上のように、女性が役員の立場で、経営管理、生産管理、それらを円滑に動かしていくための従業員の管理に積極的に関わっていくことで、経営としての質の向上につながっていくのではないのでしょうか。